

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”
～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



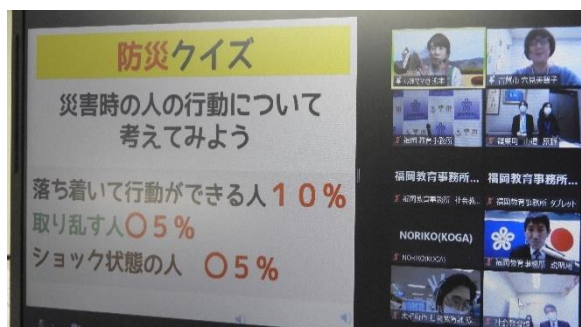
福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和3年度福岡教育事務所管内「子どもの体験活動・地域活動指導員研修会」 ～子どもの体験活動における防災指導について～（オンライン開催）														
期日	令和4年1月24日（月）														
参加者	35名														
日程	<table><tr><th>時 間</th><th>内 容</th></tr><tr><td>13：15</td><td>※Zoom 入室時間</td></tr><tr><td>13：30</td><td rowspan="3">【開会行事】</td></tr><tr><td>13：35</td></tr><tr><td>13：50</td></tr><tr><td>13：50</td><td>【講話・演習】 「子どもの体験活動における防災指導について」 ～しほママのあそぼうさい（遊び×防災）～ 講師 歌う防災士 しほママ 柳原 志保 氏</td></tr><tr><td>15：50</td><td rowspan="2">【閉 会】</td></tr><tr><td>16：00</td></tr></table>		時 間	内 容	13：15	※Zoom 入室時間	13：30	【開会行事】	13：35	13：50	13：50	【講話・演習】 「子どもの体験活動における防災指導について」 ～しほママのあそぼうさい（遊び×防災）～ 講師 歌う防災士 しほママ 柳原 志保 氏	15：50	【閉 会】	16：00
時 間	内 容														
13：15	※Zoom 入室時間														
13：30	【開会行事】														
13：35															
13：50															
13：50	【講話・演習】 「子どもの体験活動における防災指導について」 ～しほママのあそぼうさい（遊び×防災）～ 講師 歌う防災士 しほママ 柳原 志保 氏														
15：50	【閉 会】														
16：00															
活動の実際	【講話・演習】 講演活動を中心に、メディア出演や監修など多方面から防災啓発に力を注いでいらっしゃる、「歌う防災士 しほママ」こと柳原 志保 氏に「子どもの体験活動における防災指導について」～しほママのあそぼうさい（遊び×防災）～というテーマで、講話・演習を行っていただきました。 講話・演習内容は以下のとおりです。 1 クロスロード 2 ダンゴムシ体操 3 マイタイムライン 4 防災工作 5 防災料理 6 心の備え  【柳原氏による講話・演習の様子】														

1 プログラムずつ、研修内容を説明します。

【1 クロスロード】とは、ある災害の場面において「YES」か「NO」の判断をし、その判断した理由についてグループで交流するゲームです。自分の意見を他人に話すことや、自分とは違う意見を聞くことは、災害時にとても大切だということを教えていただきました。参加者は自分と違う意見を聞くことができ、様々な視点で防災を考えることができたようでした。

【2 ダンゴムシ体操】とは、地震が起きた時に自分の身を守るための体操です。体操で身につく命の守り方について教えていただきました。いざ地震にあったら、心と身体が凍りつき、自分が何をしなくてはいいかわからなくなる人が75%もいるそうです。そのために、ダンゴムシのように体を丸め、頭を守るポーズを日ごろから練習し、いざというときにできるようにする訓練が必要だと話されました。音楽に乗って体操をするので、子どもたちと楽しく防災について学べるプログラムとなっていました。自分たちの地域の子どもたちにも、教えたいという声が多く聞かれました。



【柳原氏による演習の様子】

【3 マイタイムライン】とは、風水害時の逃げ遅れを防ぐための避難行動計画表を作成することです。柳原家におけるマイタイムラインを作成している様子の動画を見ることで、参加者はマイタイムラインの作成の重要性を感じることができたようでした。事後アンケートでも、マイタイムラインを早速実践したいという記述が多く見られました。

【4 防災工作】とは、身近なものを使って防災グッズを作るというものです。今回は、牛乳パックで作る皿と新聞紙で作るスリッパの作り方を教えていただきました。困ったことを知恵でのりこえることができるのはもちろんのこと、実際の避難所等で防災工作をすることは、避難所生活のモチベーションが上がるという点においても大事だということを話していただきました。被災経験のある柳原氏だからこそ、お話できる内容であり、参加者も納得した表情で聞き入っていました。

【5 防災料理】とは、災害時の限られた材料・道具で調理する料理のことです。今回は、チキンライスをおいしく作る動画を見せていただきました。参加者からは地域の子どもたちにぜひ体験させたいという声が多く聞かれました。

【6 心の備え】とは、もしもの時のためにいつも備えている心構えのことです。柳原家の心得について教えていただきました。①自分でできることは自分で②コミュニケーションは自分から③片づけと整理・整頓④規則正しい生活リズムを⑤前向きにトライ！この5つです。災害が起きた時にはじめて何かを行うのではなく、常日頃からの心構えがとても大事であることを改めて学ぶことができました。

全体をと
おし
て

参加者アンケートでは、「今日学んだ事を保護者や地域の方にも共有させていただきます。」(社会教育関係者)、「遊び感覚で防災への意識を高めておくことは、子どもたちにとっても指導員にとっても有効であると感じ、ぜひ実践してみたいと思いました。」(地域活動指導員)、など課題意識を高めることができたことや、今後の活動のヒントを得ることができたことが分かる記述が多く見られました。このことから本研修会が、参加者にとって有意義なものになったのではないかと考えます。

福岡教育事務所社会教育室といたしましても、今後も管内市町の子どもの体験活動、また、地域活動指導員の方に対しての支援や情報提供を行っていきたいと思います。

また、本研修会は、地域活動指導員の方対象の研修会となっておりますが、残念ながら全対象者のご参加はいただけませんでした。地域活動指導員の方にご参加していただけるよう、魅力ある研修の内容を企画し、年度当初から研修会の周知を行っていきたいと思います。